

平成29年度関東倶楽部対抗埼玉第1会場予選競技 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 23倶楽部 ・ 184名)

期日：5月22日(月)

場所：越生ゴルフクラブ

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:00	神 羊二	ノーザン錦ヶ原	小島 亘	川越	山田 健一	リバーサイドフェニックス	渡辺 美明	こだま神川
2	7:09	佃 博	狭山	中山 忠良	飯能	宇佐見 則男	高根	伊禮 進	埼玉国際
3	7:18	荒井 貞雄	寄居	三枝 健男	彩の森	関橋 光一	ザ ナショナル・埼玉	小山 博義	飯能グリーン
4	7:27	柿木 良夫	鳩山	松浦 忠夫	武蔵松山	関根 幸一	岡部チサン	鯛 康一	久邇
5	7:36	笠原 秀明	ユニオンエース	小林 慶一	霞ヶ関	浅野 博司	浦和	吉増 一郎	大宮国際
6	7:45	澤村 治道	日高	厚澤 克俊	鴻巣	砂山 武則	越生	渡辺 基樹	ノーザン錦ヶ原
7	7:54	小澤 保	リバーサイドフェニックス	兵後 篤芳	狭山	飯田 雅之	高根	小野 太佳司	寄居
8	8:03	青山 透	ザ ナショナル・埼玉	清水 重夫	鳩山	前田 正雄	岡部チサン	高野 裕明	ユニオンエース
9	8:12	土屋 敏明	浦和	本澤 顕一	日高	樋口 新吾	越生	杉本 敏文	川越
10	8:21	堀 和則	こだま神川	小林 好司	飯能	工藤 利明	埼玉国際	高橋 俊行	彩の森
11	8:30	小林 賢司	飯能グリーン	清水 重幸	武蔵松山	本間 正明	久邇	長谷部 圭治	霞ヶ関
12	8:39	三塚 胤紀	鴻巣	高橋 貞雄	大宮国際	金山 将	ノーザン錦ヶ原	田中 重義	こだま神川
13	8:48	大澤 克之	高根	前田 通夫	彩の森	横田 浩	鳩山	門馬 恒夫	久邇
14	8:57	村上 基一	浦和	石井 孝司	鴻巣	高橋 幸一	川越	平山 忠昭	狭山
15	9:06	入江 誠一	武蔵松山	藤野 公訓	ザ ナショナル・埼玉	北 孝好	埼玉国際	門平 弘	ユニオンエース
16	9:15	南雲 芳憲	大宮国際	大出 勝	越生	山本 章	リバーサイドフェニックス	小谷野 希市	飯能
17	9:24	亀井 利光	霞ヶ関	中村 哲也	飯能グリーン	小川 透	岡部チサン	竹田 賢司	寄居
18	9:33	金森 圭史朗	日高	中嶋 壽一郎	ノーザン錦ヶ原	廣野 敬	狭山	川上 秀男	寄居
19	9:42	加藤 昌弘	鳩山	田中 雅己	ユニオンエース	松澤 秀俊	日高	青木 茂	川越
20	9:51	前島 洋志	飯能	山本 龍翠	彩の森	鈴木 忠司	武蔵松山	田中 達也	霞ヶ関
21	10:00	蓮原 孝	鴻巣	永嶋 龍次	リバーサイドフェニックス	松田 健一	高根	大野 一男	ザ ナショナル・埼玉
22	10:09	大内田 慎一郎	岡部チサン	中野 五雄	浦和	飯村 弘	越生	北島 秀洋	こだま神川
23	10:18	高橋 幸栄	埼玉国際	竹島 長康	飯能グリーン	内田 義明	久邇	東 裕二	大宮国際

10番よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
24	7:00	明石 敬治	ノーザン錦ヶ原	小谷野 文孝	飯能	吉岡 進	ザ ナショナル・埼玉	山縣 政和	久邇
25	7:09	土門 英司	川越	津村 竜浩	日高	渡辺 顕展	高根	鈴木 克到	飯能グリーン
26	7:18	今井 満	ユニオンエース	白金 満明	鴻巣	苗村 哲哉	リバーサイドフェニックス	宮本 匡泰	埼玉国際
27	7:27	諸戸 清光	霞ヶ関	向山 和徳	鳩山	加藤 光一	越生	木村 吉秀	こだま神川
28	7:36	川井 光洋	寄居	廣木 力	武蔵松山	松本 正人	浦和	木下 健介	狭山
29	7:45	常木 祥一	彩の森	高橋 一誠	岡部チサン	杉山 誠一	大宮国際	中川 博元	ノーザン錦ヶ原
30	7:54	森 信幸	高根	高野 秀治	鳩山	岡 時彦	浦和	竹内 正己	川越
31	8:03	八田 雅弘	埼玉国際	大島 司朗	武蔵松山	高橋 恭史	大宮国際	住田 康	リバーサイドフェニックス
32	8:12	田中 良博	寄居	関 茂生	岡部チサン	赤坂 晋介	日高	森脇 康行	こだま神川
33	8:21	岩崎 基浩	彩の森	柳 隆晃	久邇	高橋 聡	鴻巣	加藤 真一郎	狭山
34	8:30	新井 利幸	ザ ナショナル・埼玉	宿谷 昭宏	ユニオンエース	辻野 寛次	越生	田邊 光男	飯能
35	8:39	田中 健司	飯能グリーン	木下 幸一	霞ヶ関	砂塚 亘	ノーザン錦ヶ原	佐藤 竜司	埼玉国際
36	8:48	田辺 昌彦	岡部チサン	繁田 勝	鴻巣	佐藤 礼弥	川越	荒井 建次	寄居
37	8:57	萬代 誠二	久邇	木元 公二	日高	安里 明	リバーサイドフェニックス	鳥居 英夫	彩の森
38	9:06	田島 幸夫	ユニオンエース	大野 孝	こだま神川	鈴木 亮太	ザ ナショナル・埼玉	吉田 進次	霞ヶ関
39	9:15	西山 真悟	狭山	中山 久喜	飯能グリーン	澳原 広明	浦和	篠 慶弥	飯能
40	9:24	田中 俊行	鳩山	丹羽 彦仁	大宮国際	黒崎 博志	高根	上中 啓史	武蔵松山
41	9:33	仲田 拓司	越生	北村 成幸	ノーザン錦ヶ原	大日 健	寄居	須賀 和彦	ユニオンエース
42	9:42	高橋 敬二	川越	金田 弘之	彩の森	井口 和也	霞ヶ関	原 仁	リバーサイドフェニックス
43	9:51	広井 智一	ザ ナショナル・埼玉	當麻 正貴	浦和	服部 誠	こだま神川	山下 明	飯能グリーン
44	10:00	渡辺 信之	大宮国際	長尾 泰希	狭山	森山 明英	鳩山	小山 明宏	日高
45	10:09	吉澤 俊明	飯能	長野 修	武蔵松山	新村 義幸	鴻巣	塚田 正則	高根
46	10:18	笠倉 伸夫	岡部チサン	中根 俊幸	越生	川口 智宏	埼玉国際	鈴木 敦	久邇

競技委員長 大木隆

平成 29 年度 関東倶楽部対抗埼玉第 1 会場予選競技

開催日 : 5 月 22 日(月)

開催コース : 越生ゴルフクラブ

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2 打」とする。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)

アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。

2. ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)

ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。

3. 修理地(規則 25-1)

修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。ただし、次のものを含む。

(a) パッティンググリーンの前後のペイントマークを含み、スルーザグリーンの芝草を短く刈った区域にあるヤーデージマーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。

(b) 15 番ホール右側の祠はプレー禁止の修理地とする。

4. 動かさない障害物(規則 24-2)

(a) 排水溝

(b) 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)

(c) 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)

(d) 距離標示用の人工のヤーデージマーク

5. コースと不可分の部分

ウォーターハザード内にある人工の壁や杭でできた構造物。

6. 電磁誘導カート用の軌道

電磁誘導カート用の軌道は、全幅をもってプレー禁止の修理地とする(人工の表面をもつ道路も含む)。

ただし、スタンスのみが障害となる場合は、そのままプレーすることもできる。

7. 防球ネット

4 番と 6 番ホールの間及び 13 番と 15 番ホールの中の防球ネットに球が近接しているためにスタンスや意図するスイングの区域の妨げになる場合、規則 24-2b(i)により処置する時は、その障害物の中や下を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。

8. 指定ドロップ区域

8 番ホールグリーン左側の防球ネットとそれに隣接するカート道路は一体のプレー禁止の修理地とする。

球がその上にあったり近接しているために、スタンスや意図するスイングの区域の妨げになる場合、プレーヤーは、罰なしに、その球に最も近い指定ドロップ区域にその球をドロップすることができる(付属規則 I(A)6 を適用する。ゴルフ規則 173 ページ参照)。

9. パッティンググリーン上で球が偶然に動かされること

規則 18-2, 20-1 は以下の通りに修正される。

プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーまたはキャディーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。その球やボールマーカーはリプレースされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。

注: パッティンググリーン上の球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。また、そのような状況で動かされたボールマーカーはリプレースしなければならない。

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(B)1a』を適用する(ゴルフ規則 176 ページ参照)。

4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(B)1b』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b,c,d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

プレーの即時中断 : 1 回の長いサイレン

プレーの中断 : 連続する 3 回の短いサイレン(繰り返し)

プレーの再開 : 2 回の短いサイレン(繰り返し)

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(B)5b』(ゴルフ規則 181 ページ参照)。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(B)2』を適用する(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

9. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。

2. 予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーは規則 25-3 に基づいて救済を受けなければならない。

3. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。

4. 競技委員会は規則 33-7 に基づき、すべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーを競技失格とすることができる。

5. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 8 コイン(192 球)を限度とする。

距離表

Hole No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
A クラス Yards	565	170	368	429	165	320	336	371	530	3254
B クラス Yards	594	187	400	452	183	341	374	394	553	3478
Par	5	3	4	4	3	4	4	4	5	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
518	153	407	389	346	607	397	165	357	3339	6593
547	172	448	411	376	615	411	185	357	3522	7000
5	3	4	4	4	5	4	3	4	36	72

競技委員長 大木隆